

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月18日

【評価実施概要】

事業所番号	0176700391		
法人名	社会福祉法人 稚内木馬館		
事業所名	グループホーム ひだまりはまなす館		
所在地	北海道稚内市はまなす2丁目9番25号 (電話) 0162-34-8044		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年9月14日	評価確定日	平成21年10月5日

【情報提供票より】(平成21年8月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年4月10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 18人, 非常勤 人, 常勤換算 11人	

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル亜鉛鋼板葺 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000~28,500 円	その他の経費(月額)	30,000~33,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,035 円		

(4) 利用者の概要(8月28日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名
要介護3	6 名	要介護4	5 名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 83.2 歳	最低 74 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立稚内病院(総合) 道北勤医協宗谷医院(内科)
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

海岸沿いに面して、障害者施設など総合的な福祉施設が併設された社会福祉法人が運営するグループホームです。毎年、計画的にホーム内にエレベータの設置や改修など利用者の身体機能に合わせた設備の更新などが行われたり、本年は暖房設備を灯油からガスに切り替えて安全性の向上と二酸化炭素の排出抑制に取り組み温暖化対策に貢献しています。また、消費者協会で悪徳商法対策の講演会の協力や毎年開催される「ひだまり祭り」では地元の人々との交流や地域への貢献に取り組みと共に中学生のインターンシップ、実習生の受け入れが行われホームのもつ機能の地域への還元も積極的に行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、災害対策の実践について課題が挙げられていましたが、暖房設備を灯油からガスに切り替えて火災のリスクを軽減させたり、火災避難訓練の定期的な実施や救急救命訓練の実施など災害等の事故の未然防止に取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、すべての職員が参加して行われ、新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告され意見交換されていると共に広報誌「木馬館からこんにちは」で広く一般に公表されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヵ月毎に開催され、主な議題については 消防法の改正について(スプリンクラーの設置等) 預かり金の保管、管理について 権利擁護に関する制度の理解について 成年後見制度について 「ひだまり祭り」開催について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 運営推進会議で「預かり金」の保管、管理について話し合われたり、「ひだまり祭り」を開催して職員と家族、地域の人たちとの交流の機会を作ったり「家族会」開催で苦情、要望や意見、不安な点など言い表せる機会を設けて、それらの意見を運営に反映されるように話し合われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入して、敬老会などの参加や地域活動の参加、ホーム主催の「ひだまり祭り」や「カラオケ歌謡ショー」では地元の人々も参加して地域との連携も実践されています。また、中学生のインターンシップ、実習生の受け入れが行われホームのもつ機能の地域への還元も積極的に行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けるサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、ユニット会議を通じて、その実践に向けて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、「木馬館からこんにちは」を定期的に刊行し、理念や市立病院からの情報提供、法人の決算報告など広く家族や地域に広報されている。
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、敬老会などの参加や地域活動の参加、ホーム主催の「ひだまり祭り」や「カラオケ歌謡ショー」では地元の人々も参加して地域との連携も実践されている。また、中学生のインターンシップ、実習生の受け入れが行われホームのもつ機能の地域への還元も積極的に行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、すべての職員が参加して行われ、新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告され意見交換されていると共に広報誌「木馬館からこんにちは」で広く一般に公表されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2カ月毎に開催されている。また、運営推進会議の委員は、稚内市担当者、包括支援センター職員、地域の役員、家族、事業所職員が参加して消防法の改正等具体的活動に取り組まれている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、稚内市や支庁への日々の業務についての連絡や相談、介護保険相談調整委員の受け入れ等を通じて行政とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>運営推進会議や家族会を通じて情報提供されていると共に利用者の状態変化については都度、電話連絡をすると共に受診時には、詳細に報告しています。また、金銭管理についても出納帳の報告など実施されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議で「預かり金」の保管、管理について話し合われたり、「家族会」開催で苦情、要望や意見、不安な点など言い表せる機会を設けて、それらの意見を運営に反映されるように話し合われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>来訪者に分かりやすく共用空間には、職員の顔写真付きで掲示がされている。また、法人及び管理者は、職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		<p>職員の写真が共用の空間に掲示され来訪するご家族に分かりやすいように工夫されているが、定期的な報告も必要に思われる。また、認知症対応共同生活とは何か、認知症の症状、「見守り」とは何かなど職員の持つ専門知識を家族に知らせる工夫を期待します。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人は、管理者や職員を段階に応じて育成するため法人事業部の内部研修参加やグループホーム連絡協議会、稚内市主催の研修会など外部の研修参加が実践されている。また、ユニット毎で交代制でリーダーを決めて自己啓発できるように取り組みも行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域的に同業者の数も少なく交流の難しい面もあるが、グループホーム協議会、稚内市主催の会議での交流でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>アセスメントで本人の生活歴や趣味、嗜好が把握されている。また、本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学や職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるよう個々に応じた工夫をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、散歩や買い物、カラオケなど一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用年数が長くなるとともに身体機能も少しずつ低下してきているが、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に応じて、散歩や買い物、カラオケやビデオ鑑賞などの趣味への支援やサロベツ原野や宗谷岬などへのドライブなど本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報、ユニット会議での職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買い物、通院への支援など柔軟に行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員の配置やかかりつけ医との連携で、日常の健康管理や医療の活用ができるように支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等、医師・看護師と連携して、利用者・家族と相談しながら全員で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応が行われている。また、記録等の個人情報の扱いは、配慮した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にして、ホーム行事への参加や散歩、ドライブ、カラオケでの歌唱など本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に食事の準備やおやつ作りをしている。また、ラーメンや寿司などの外食も支援されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	市内の足湯にでかけたり、入浴拒否の利用者にも対応されている。また、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら新聞の整理や洗濯物たたみ、畑での野菜の収穫など気晴らしの支援も行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、選挙での投票や畑での野菜の収穫、買い物や散歩、宗谷岬へのドライブなど戸外にでかけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	法人及び全ての職員は、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、居室や玄関は鍵をかけていない。利用者が外出する時は、鈴などの鳴り物で鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>暖房設備を灯油からガスに切り替えて火災のリスクを軽減させたり、火災避難訓練の定期的な実施や救急救命訓練の実施など災害等の事故の未然防止に取り組んでいる。</p>		<p>特筆すべき点として、二酸化炭素の排出量削減に取り組む地球温暖化防止に努めている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスやカロリーについて法人内の栄養士の指導・アドバイスを受けている。また、水分や食事摂取量が具体的に記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には、利用者一人ひとりの作品を展示できるスペースがあり、それぞれの思いを大切にする取り組みが行われている。また、前庭では、畑作りや日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように工夫されている。利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、テレビや箆笥、使い慣れた家具が持ち込まれていたり、家族の写真が飾られ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。